

知立市歴史民俗資料館

年報

令和3年度

目 次

資料館概要

沿革・施設

沿革	1
施設	1

資料館事業概要

展示活動

常設展示	2
季節展示	3
企画展示	4
ミニ企画展示	13

教育・普及活動

GW（ゴールデンウィーク）イベント	14
義太夫お試し教室	14
資料館講座「ステップアップ古文書講座」	15
博物館実習	15
資料館講座「土器づくり」	16
市内小学校3年生の見学	16

収集・保存活動

寄贈資料	17
受領函書	18

利用状況

貸出・閲覧資料一覧	22
月別来館者数	22

文化財保護事業概要

文化財保護事業

文化財調査・活用	23
文化財保護	24

条例・規則

知立市歴史民俗資料館条例	25
知立市歴史民俗資料館管理規則	26
知立市文化芸術基本条例	28

資料館概要

沿革・施設

沿革

知立市歴史民俗資料館は、昭和 53 年に開館した「知立市郷土資料館」を前身としています。

郷土資料館は知立中学校の西北（現広見 2 丁目 1 番地辺）の場所に、刈谷に移転した旧法務局を改造して建てられ、知立の歴史や民俗に関する資料を主に収集・展示していました。

その後、建物の老朽化や狭小さから新資料館建設の要望が高まり、昭和 62 年 10 月 22 日、市立図書館と併設する形で現在の歴史民俗資料館が開館しました。



資料館・図書館外観



資料館展示室入口

施設

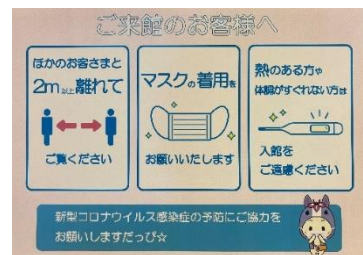
南西向きの 2 階建てです。中央の正面玄関を入ると、ロビーのある共用スペースを挟んで右が図書館スペース、左が資料館スペースとなっています。資料館側の 2 階には、平成 20 年度から始まっている新編知立市史編さん事務局である文化課市史編さん係があります。また建物南側には緑豊かな新地公園が広がり、市民の憩いの場となっています。

敷地面積 4,950 m² 建築面積 658.11 m² 延床面積 1,140.48 m²
1 階展示室 207.45 m² 1 階収蔵庫 88.46 m²
2 階展示室 172.95 m² 2 階収蔵庫 124.25 m² 特別収蔵庫 21.90 m²
燻蒸室 9.67 m² 整理作業室 58.73 m²
事務室 28.65 m² その他
鉄筋コンクリート造地上 2 階建一部塔屋

所在地 〒472-0053 知立市南新地二丁目 3 番地 3 (TEL 0566-83-1133)
開館時間 午前 9 時～午後 5 時
休館日 毎週月曜日（祝日は開館）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、
館内整理日（毎月第 4 金曜日）、特別整理期間（年 10 日以内）
入館料 無料
交通機関 名古屋鉄道本線 知立駅下車 徒歩 10 分

資料館事業概要

前年度より続くコロナ禍の中ではありましたが、図のようなパネルを設置して、感染予防に気を付けながら、休館することなく、一年を無事終えることができました。



展示活動

常設展示

<1階> 知立の歴史的な特色を紹介する3つのコーナーを設けており、年に一度、展示替えを行っています。

【知立神社と知立まつり】

当地の地名「知立」を冠する知立神社とその祭礼「知立まつり」を紹介しています。

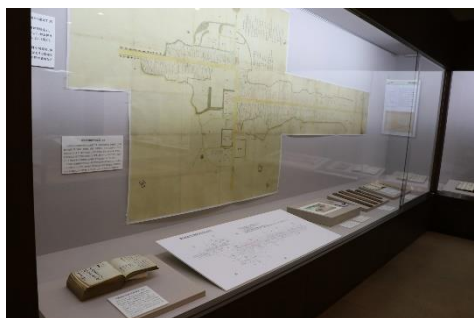
知立神社は式内社であり、またマムシ除けの靈験あらたかな神社として知られた神社です。毎年5月2日、3日には同神社で「知立まつり」が行われます。知立まつりの本祭（隔年）に奉納される「知立の山車文楽とからくり」は、平成2年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年には全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。



ここでは知立神社・知立まつり・山車文楽とからくりに関わる資料を展示するほか、知立まつり（本祭）の14分間の映像を上映しています。

【池鯉鮒宿】 知立には江戸時代、品川から数えて39番目の東海道の宿場「池鯉鮒宿」がありました。こ

こでは宿の様子を詳細に示す絵図や、本陣・問屋場などに関わる資料、広重が描いて知られた池鯉鮒の馬市をはじめとする池鯉鮒宿の浮世絵や近世の旅道具などを展示しています。また池鯉鮒宿のジオラマや旅籠を模したコーナーも設置し、当時の様子を再現しています。



【八橋と伊勢物語】

『伊勢物語』第九段で詠まれた「からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ」の歌とともに広く知られた名所“八橋”を紹介しています。

『伊勢物語』の版本や主人公とされる在原業平に関わる資料、八橋について記した中世～近世の紀行文、また近世になって八橋再興をこころみた方巖売茶翁に関係する資料などを展示しています。



なお、特別展・企画展の際は、1階展示室の一部を会場とするため、常設展示はその間、撤収しています。

<2階> 当地の原始・古代・中世の出土資料を展示するほか、近代の農具やくらしの道具、戦時資料などを展示しています。また明治2年に当地で立藩した重原藩の大参事となり、廃藩後は自由民権運動で活躍した内藤魯一に関するコーナーも設置しています。



季節展示 <五月人形>

例年4月末～5月末にかけて、五月節句飾りを展示しています。大正から昭和時代の五月人形や兜、土人形、こいのぼりなどを飾っています。今年度は図書館の展示コーナーを使い、展示とともに、令和2年度にナスもル知立様からご寄贈いただいた手作り段ボール甲冑を設置しました。合戦風景を背景にして甲冑と共に写真を撮っていただくコーナーとしました。



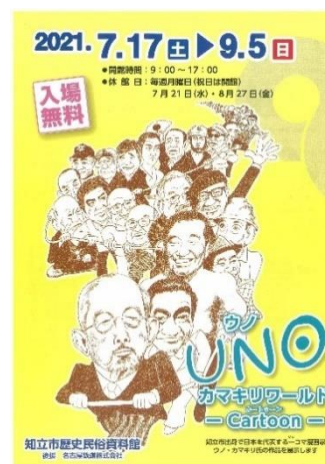
企画展示

ウノ・カマキリワールド—Cartoon—

7月17日～9月5日

□ 展示趣旨

知立市出身の一コマ漫画家ウノ・カマキリ氏（1946-）の漫画の世界を紹介する企画展を開催しました。ウノ氏は小学校3年生までを当市で過ごし、上京後アニメーターとして勤務したのち、『平凡パンチ』で鮮烈なデビューを飾りました。コマの概念を必要としない「一コマ漫画」の制作に一貫して取り組み、落語を漫画で表現した「落画」などユニークな作品を世に送り出しています。今回の企画展は、学生時代の卒業制作時の作品、受賞作品、絵本原画や新聞掲載作品の原画などの作品群のほか、当市での長年にわたる活動を紹介するコーナーを設け、幅広いウノ氏の表現の世界を知ることができる展示となりました。



□ 会場 1階展示室

□ 入場料 無料

□ 印刷物 チラシ兼パンフレット 5,500枚、ポスター300枚

□ 期間中の入館者数（会期日数） 5,382人（43日間）

□ 関連イベント

①ギャラリートーク

日時：令和3年7月24日（土）

第1部 午前10時～11時

第2部 午後1時30分～2時30分

場所：1階展示室

内容：ウノ氏による各種作品紹介。

定員：各回12人 参加者数：各回12人

②ウノ・カマキリ氏によるまんが教室

日時：令和3年8月8日（日）

午前10時～11時30分

場所：図書館2階視聴覚室

内容：ウノ氏による子どもたち向けの漫画教室。

定員：12人 参加者数：12人

③缶バッジを作ろう！

日時：令和3年8月1日（日）

午前10時～午後3時

場所：1階展示室前

内容：ウノ氏のイラストを使ってオリジナル缶バッジをつくる。

④市制50周年記念入場券販売&スタンプ・シールラリー

日時：企画展会期中

場所：知立駅及び資料館

内容：知立駅にてウノ氏のオリジナルイラスト入りの入場券を販売し、購入者を対象とした知立駅・資料館を巡るスタンプ・シールラリー。

□ 関連展示

復活！夢人駅漫画展

日時：企画展会期中

場所：三河知立駅

内容：平成6年から三河知立駅掲示板にウノ氏の漫画を展示する活動が長く続いた。今回はこの復活として同掲示板に同様の展示を行った。



□ 展示資料リスト

資料名	時代
阿佐ヶ谷美術専門学校時代卒業制作作品	昭和31年
雑誌『平凡パンチ』	昭和43年
パネル『平凡パンチ』内グラビア8点	—
「きのうのジョー」	昭和45年
「人物絵日記」7点	—
書籍『プレイボックス “自分のバイオリズム” 入門』ほか15冊	—
パネル『プレイボックス あなたの体は何歳か』ほか表紙144枚	—
絵本『どうくつ』	昭和59年
絵本『どうくつ』（複製）	—
絵本『きょうもいいてんき』	昭和52年
絵本『きょうもいいてんき』（複製）	—
絵本『ぼくってひとり』	昭和56年
絵本『ぼくってひとり』（原画）18枚	—
絵本『ラーメンおいそぎ』	昭和56年
絵本『ラーメンおいそぎ』（原画）16枚	—
児童書『ぬすまれた教室』	昭和59年
児童書『ばけくらべ』	昭和55年
児童書『インソップものがたり』	昭和54年
児童書『はじめようパソコン』	昭和60年
児童書『うごかそうパソコン』	昭和60年
児童書『つかいこなそうパソコン』	昭和60年
児童書『テレビ局』	平成10年
開明まんが墨汁	—
開明これいっぽん	—
墨汁屋さんのねりけし2点	—
墨汁屋さんの消しごむ8点	—
墨汁屋さんの金の消しごむ3点	—
墨汁屋さんの湯（入浴剤）3点	—
漫皿「黒猫」（原画）	—
開明墨汁	—
「カマキリの漫画机」（原画）	—
『週刊朝日』「ギロン堂」挿絵（複製）7枚	—
『東京新聞』時事川柳7枚	—
漫画『き「キ違い図鑑」より』	昭和51年
パネル『き「キ違い図鑑」より』7枚	—
『はちプラスむげんだい<<点達のメッセージ>>』	昭和53年
『はちプラスむげんだい<<点達のメッセージ>>』（原画）4点	昭和53年
「落画」8点	平成23年
漫画家協会賞状	平成23年
受賞記念誌	—

資料名	時代
『JAPUNCH漫画集Ⅲ BBOW WOWW』	平成12年
『JAPUNCH漫画集Ⅳ VIVA, CHEF!』	平成13年
『JAPUNCH漫画集Ⅵ I LOVE SPORTS』	平成17年
『JAPUNCH漫画集Ⅴ CIN CIN!』	平成14年
『ウノ・カマキリ作品集 JAPAN as SAMURAI』	平成26年
『JAPUNCH漫画集Ⅵ I LOVE SPORTS』（原画）2枚	—
パネル『JAPUNCH漫画集』より10枚	—
「MUSICIAN」4枚	—
映像「ウノ氏の夢人駅での活動映像」	—
映像「やなせさんが知立にやってくる」	—
クレイアニメ「はやて」	—
似顔絵ポスター「知立は知立」	—
パネル『三河を走って85年』より2点	—
ふれ愛箱ファンレター5点	—
ふれ愛箱キャラクターイラスト	—
夢人駅2周年記念色紙等8点	—
ポスター「やなせたかしさんとアンパンマンが知立にやってくる！」	平成19年
「やなせさんが知立にやってくる」関連資料	平成19年
やなせたかし氏色紙	平成18年
タペストリー「ジョン・レノン」	—
タペストリー「落画とすっぴんチャッピン」	—
タペストリー「黒澤明監督「天国と…」」	—
ポスター「イツ・ア・カマキリわーるど」	平成9年
ポスター「アジア漫画展INちりゅう」	平成9年
ポスター「アジア漫画展 さ・ふあいなる！」	—
「MANGA祭」の法被	—
『平成19年度 生涯学習ガイドブック』	平成19年
知立市図書館マスコットキャラクター「ブックリン」置物2点	—
「満腹食堂」（複製）56点	—
「カマキリの4コマ劇画」4点	平成21年
色紙3点	—
4コマ漫画「すっぴんチャッピン」（原画）7点	—
「すっぴんチャッピン」（原画）28点	—

企画展示

レトロな薬の看板展 ー知立にあった薬屋さんからー 10月2日～11月16日

□ 展示趣旨

なにか少し調子が悪い、そんな時になくてはならないのが身近な薬屋さんですが、昭和の半ば頃までの薬屋さんは、さまざまな薬の看板を屋根や軒にかけたり店頭に置いたりして、一目で薬屋とわかる華やかなものでした。そんな薬屋さんが知立にもありました。旧東海道沿いであって近世には旅籠屋を営み、明治以降は薬屋となった中町の松島屋薬局さんです。平成27年に惜しくも閉店しましたが、多くの薬の看板が残されており、令和2年度に当館に寄贈していただきました。

本展示では、寄贈いただいた薬の看板を一堂に展示し、その多様な種類を紹介しました。

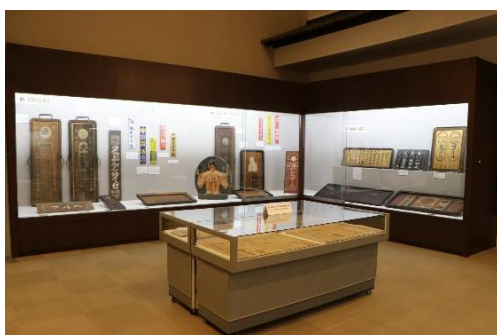


□ 会場 1階展示室

□ 入場料 無料

□ 印刷物 チラシ5,500枚、ポスター300枚、
展示パンフレット（A4カラー・24頁）1,500部

□ 期間中の入館者数（会期日数） 3,599人（38日間）



□ 展示資料リスト

資料名	時代
心臓の薬（強心剤）の看板	
看板「虔修六神丸」（置き看板）	明治期
看板「虔修六神丸」	明治期
看板「伊東六神丸」（掛金具あり）	明治～大正期か
看板「伊東六神丸」	明治～大正期か
看板「亀田六神丸」	昭和初期以前
看板「疝消丸」	—
松島屋の記録	
松島屋行灯看板	明治期
薬剤小売帳 第巻号	明治16年～
売薬元受帳	明治18年～
看板「薬種商」	明治35年
看板「売薬営業」	明治35年頃
版木「官許公文之写」	明治17年
売薬製造帳	明治16年～24年
売薬印紙受払帳	明治17年～
薬剤師試験及第之証	明治34年12月
薬種商免許鑑札	明治35年7月
目薬の看板	
看板「大学目薬」（金看板）	明治～大正期
看板「大学目薬」（ホーロー看板）	昭和初期か
看板「京眼薬」	明治期か
看板「ロート目薬」	昭和初期か
看板「直治水」	明治～大正期か
滋養強壯の薬の看板	
看板「健脾丸」	明治期か
看板「司命丸」	明治期
看板「人參三臟円」	昭和初期以前
看板「天龍仙」	昭和初期以前
看板「アリナミン」	昭和30年代
展示看板に薬名のある薬の袋（実際の薬袋）	
司命丸の薬袋と薬の説明らし	—
霜光散の薬袋と薬の説明らし	—
長江七度煎 薬袋	—
七度煎 薬袋	—
金匱救命丸（宇津救命丸の旧名）薬袋	—
風邪・熱・せきの薬の看板	
看板「烏犀角散」	明治～大正期
看板「敬震丹」	大正～昭和初期
看板「参天セキ薬」	大正～昭和初期

資料名	時代
看板「パウルフ散」	昭和初期か
看板「強力パブロンアンプル」	昭和37年頃
皮膚の薬・傷薬の看板	
看板「しもやけ根切薬」	明治～大正期
看板「軍中散」	明治期か
看板「メンソレータム」	昭和初期か
胃の薬の看板	
看板「ヘルプ」	明治40～43年
看板「清心丹」	明治期
看板「大効丸」	明治～大正期
看板「胃散」	明治21～31年
看板「タカジアスターゼ」	昭和初期以前
看板「健胃固腸丸」	明治～大正期か
看板「疝気五香湯」	昭和初期以前
看板「胃活」	昭和初期以前
看板「コストミン」	大正9年～昭和初期
看板「ラクツー錠」	昭和初期か
看板「富士リチネール」	昭和初期以前
看板「ネオネオギー」	昭和初期
頭痛・脳病・神経の薬の看板	
看板「頭痛静靖丸」	明治期
看板「静靖丸」	明治～大正期
看板「強脳」	明治～大正期か
看板「ノーシン」	昭和期
看板「海貴来」	昭和初期か
看板「安楽散」	昭和初期か
看板「レコール」	明治～大正期か
複数の薬名が書かれた看板	
看板「七度煎・胃腸丸・エキス丸」	明治36年
看板「神薬・一方水・清龍」	明治～大正期
看板「痢病全快丸・キナエン丸・・・ほか」	明治期
看板「一切丸・気転丸・鎮座散」	昭和初期以前
看板「ゴノール・レコール」	明治～大正期か
展示の看板にある薬の広告（新聞・雑誌）	
大阪朝日新聞の広告「ロート目薬」	大正2年11月4日号
大阪朝日新聞の広告「大学目薬」	大正2年11月3日号
名古屋新聞の広告「一日丸」	大正元年8月16日号
大阪朝日新聞の広告「中将湯」	大正2年11月1日号

資料名	時代
名古屋新聞の複数広告「太田胃散・実母散・宇津救命丸・亀田六神丸・清心丹など」	大正元年8月3日号
大阪朝日新聞の広告「健胃固腸丸」	大正2年11月5日号
名古屋新聞の広告「ヘルプ」	大正元年8月22日号
雑誌「料理の友」掲載広告「中将湯」	昭和16年10月1日号
雑誌「料理の友」掲載広告「ネオネオギー」	昭和16年11月1日号
婦人病の薬の看板	
看板「中将湯」（置き看板）	明治30～40年代
看板「中将湯」（大販売 近藤薬舗）	明治30～40年代
看板「中将湯」（上部2か所掛金具）	明治30～40年代
看板「実母散」	明治～大正期か
看板「月さらい（整血丸）」	明治～大正期か
看板「美神丸」	昭和初期か
看板「一日丸」（小林盛大堂）	明治～大正期
看板「一日丸」（小林大薬房）	大正期
看板「正産湯」（左右持ち手あり）	明治～大正期か
看板「正産湯」（細長い）	明治～大正期か
看板「まわたくすり」	明治～大正期か
看板「相原養順堂」「特約店近藤薬房」	—
小児薬の看板	
看板「宇津救命丸」（濃い茶色）	明治40年～大正期か
看板「宇津救命丸」（薄い茶色）	明治40年～大正期か
看板「生長丸・霜光散」	明治～大正期か
看板「小児せき一方」	明治～大正期か

資料名	時代
その他の薬の看板	
看板「ぢの薬ヒット」	昭和初期
看板「毒たやし丸」（横書き）	昭和初期以前
看板「毒たやし丸」（縦書き）	明治～大正前期
看板「君が代」	大正～昭和初期
看板「元禄」	大正～昭和初期
看板「森永ドライミルク・森永ミルク」	昭和2～24年
看板「アゴン」（椅子に加工）	—
松島屋薬局で使われていた調剤道具など	
百味箆筍	—
化学天秤	—
分銅セット	—
上皿天秤	—
顕微鏡	—
桿秤	—
薬研	—
犀の角	—
乳鉢と乳棒 各3点（尋常薬剤・劇薬剤・毒薬剤）	—
坐剤調製器 肛門用・膣用各1点	—
切丸器	—
軟膏台	—
浸煎剤器	—

企画展示

おひなさま展

2月5日～3月27日

□ 展示趣旨

毎年この時期におひなさまを展示しています。当館にこれまで寄贈いただいた明治時代初期～昭和30年代までの雛人形や雛飾りを、一堂に展示しました。一対の内裏雛から源氏杵飾り、御殿や屏風の段飾りなどのおひなさまのほか、一緒に飾った市松人形やケース人形なども展示しました。またこの地方で桃の節句によく食べられたおこしものや押しずしなどの食品も紹介しました。



□ 会場 1階展示室

□ 入場料 無料

□ 印刷物 チラシ5,000枚、ポスター300枚

□ 期間中の入館者数（会期日数） 4,718人（43日間）

□ 関連イベント

恒例の愛知県内おひなさま展示館を巡る「ひなまつりスタンプラリー」に参加予定でしたが、昨年引き続きコロナ禍のため中止となりました。



□ 展示資料リスト

資料名	時代
◆ 新収蔵品 雛 昭和初期のおひなさま	
御殿飾り	昭和9年
おもちゃ絵 (おひなさま)	—
◆ 土人形	
おいらん、内裏雛(3)、白拍子(2)、翁と 媼、弁財天、八重垣姫	—
源氏粹飾り 一式	大正12年頃
◆ 内裏雛	
源氏粹飾り	大正期
内裏雛 (+ 天神人形)	明治期
内裏雛	昭和3年
内裏雛	昭和2年
◆ おこしものの型	
鯛、梅、瓦製、男雛、鶏、桃、飛行機、 車、馬	—
◆ ひなまつりに食べた物 (模造品)	
押しずし 一段 (お寿司入り)	—
つぼとわけぎの酢味噌和え	—
おこしもの	—
いがまんじゅう	—
ぼろ	—
◆ 段飾り	
屏風飾り	昭和前期
屏風飾り	昭和27年頃
御殿飾り (紫宸殿モデル)	昭和前期か
御殿飾り (紫宸殿モデル)	昭和33年
御殿飾り (東照宮モデル)	昭和24年
御殿飾り (東照宮モデル)	昭和28年
◆ 一緒に飾った人形	
変わりびな (竜宮城)	—
変わりびな (高砂人形)	昭和期
変わりびな (高砂人形)	大正12年頃
変わりびな (高砂人形)	—
変わりびな (連獅子)	大正12年頃
変わりびな (汐汲み)	昭和10～12年頃
変わりびな (胡蝶の舞)	昭和10～12年頃
変わりびな (舌切り雀) 2点	大正12年頃
市松人形 3点	昭和期
裸人形	昭和36年
男の子と女の子の立ち人形	—
市松人形	昭和15年頃
男の子と女の子の人形	—
ケース人形「道成寺」他3点	—
屏風飾り	明治元年頃
ミニ屏風飾り	昭和30年

同時開催 婚礼道具

□ 展示趣旨

江戸時代から伝統的に日本の婚礼は、女性が男性の家に入るいわゆる「嫁入り」が主流です。

その際に、将来にわたり生活に困ることがないようにと女性側が用意する家具や着物などを「嫁入り道具」と呼びます。伝統的に道具の豪華さは家の格式とみなされ、統一された塗りの調度品、高価な着物などを用意したものでした。おひなさまの御道具もこれらの調度品が小さくなったものと考えられています。今回は昭和初期に知立へ嫁入りした方より寄贈を受けた嫁入り道具一式と、花嫁衣裳、そして婚礼の関係としてこの地方の嫁入りの際の祝儀を記録した明治の古文書を紹介する展示を企画しました。

※ 会場・入場料・印刷物・期間中の入場者数は「おひなさま展」と同じです。



□ 展示資料リスト

1. 嫁入り道具

資料名	備考
飾り箆笥	
文机	
くけ台	
女雛	
裁縫箱	
衣桁	
花嫁衣裳	
御婚礼 御調度品の御案内	昭和初期
人形 楽を奏でる童	
土人形 舞妓	

花嫁（陶製）	
人形 舞姫	
人形 幼女こけし	
人形 舞妓	
土人形 童女・台付き	
着物ハンガー・手ぬぐい	

2. 婚礼の様子

資料名	備考
（婚礼写真）	パネル展示
婚礼進物帳控	一部パネル展示

ミニ企画展示

常設展示や1階展示室で開催する企画展示のほかに、時事に合わせて、また展示資料の少ない分野の資料を紹介する目的で、小スペースを使ったミニ展示も行っています。

<2階民家>

2階展示室の中央にある、民家の一室をイメージした展示スペースです。

昨年度から6月までは「むかしの小学生」(下写真左)をテーマに、明治～昭和の小学生が使った石盤やランドセルなどの勉強道具や当時の時間割などを紹介しました。7月からは「昔の生活からSDGsを考えよう!」を副題として「竹を使った生活の道具」(下写真右)を展示しました。台所・食事の道具、掃除・洗濯の道具、住まいの道具など、竹でできた道具を使用目的ごとに分けて並べました。



<ロビー展示>

図書館との共用スペースであるロビーで、覗きケース2台を使ってミニ展示をしています。

昨年度から本年度1月までは「昭和のこどものおもちゃ箱」をテーマに、石けり玉やビー玉、子供のころたくさん集めていた方から寄贈いただいたたくさんのめんこやキン消し(キン肉マン消しゴム)・ガン消し(機動戦士ガンダムシリーズのカプセルトイ)などを展示しました。



8月の終戦記念日前後には、開催中の企画展「ウノ・カマキリワールド」で作品を展示していたウノ・カマキリ氏の戦争にかかわる絵を、博物館実習生と共に展示しました。テーマを「ウノさんが描いた終戦の頃」として、ウノ氏が描いた絵本のパネルや、絵の原画などを展示ボード2枚で紹介しました。

2月からは「小さな人形たち」をテーマに、これまであまり展示の機会がなかった高さ2～15cmほどの小さな土人形や土産物の人形たちを覗きケースいっぱいに展示しました。

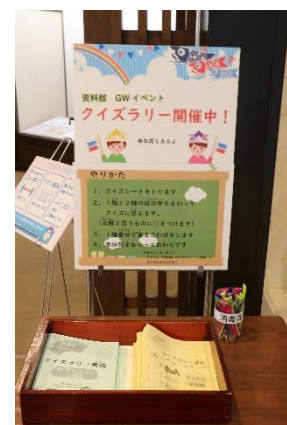


教育・普及活動

GW（ゴールデンウィーク）イベント

<クイズラリー>

- 日時 4月29日（木）～5月9日（日）開館中随時
- 場所 1・2階展示室
- 内容 参加者が資料館の常設展示を回りながら、初級編（12問）や上級編（12問）のクイズに答え、楽しく知立の歴史を学んでいただきました。
- 参加者 86人



義太夫お試し教室

国指定重要無形民俗文化財でありユネスコ無形文化遺産にも登録されている「知立の山車文楽とからくり」の後継者育成事業です。上演の際、三味線にあわせて人形浄瑠璃芝居を語る役目を太夫といい、その太夫と三味線の初心者向けの稽古を行うものです。平成29年度から実施しています。

- 講師 豊澤千賀龍師匠及び知立市義太夫会
- 日程 令和3年5月から令和4年3月の毎月第4土曜日 午後6時～8時
※新型コロナウイルス感染症予防のため5月、8月、9月は中止となりました。
- 場所 知立市中央公民館
- 受講者 18人



□ 成果発表会

11月14日（日）、パティオ池鯉鮒の光のパティオで開催された「秋の山車文楽上演」の中で、教室受講生も発表を兼ねて「傾城阿波の鳴戸 順礼歌の段」を、知立山車文楽保存会中新町人形連の方々とともに上演しました。



資料館講座「ステップアップ古文書講座」

令和元年度から始まった講座です。古文書の読み方の基礎や江戸時代の歴史や文化について学んでいただくことを目的とした講座です。昨年度からの継続者 23 人が受講しました。

- 講師 藤井智鶴氏
- 日程 令和 3 年 6 月から令和 4 年 3 月（8 月、11 月を除く）
毎月第 2 日曜日 午後 1 時 30 分～3 時（一部変更あり）
- 場所 知立市図書館 2 階 視聴覚室
- 内容 使用資料
水野家文書所収 4 点（個人蔵・当館寄託資料）
- 受講者 23 人



博物館実習

原則 1 大学につき 1 人という条件で、大学から要請のあった学生を受け入れ、実務実習を行っています。

- 期間 令和 3 年 8 月 6 日（火）～ 8 月 10 日（土） 9:30～16:00
- 受入学生 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科美術領域 1 人
- 日程と内容

日にち	実習内容
8 / 3（火）	オリエンテーション・市内文化財見学・館内概要説明と見学
8 / 4（水）	展示実習 1
8 / 5（木）	埋蔵文化財実習
8 / 6（金）	土器づくり実習・資料撮影実習
8 / 7（土）	展示実習 2・反省会

展示実習では、知立市出身の漫画家ウノ・カマキリ氏が絵の執筆を担当した絵本『私の八月十五日 ～昭和二十年の絵手紙～』を用いて、戦争に関する絵の展示を行いました。

埋蔵文化財実習では、市内で発掘され当館で保存している木製品の洗浄と保存液交換、土器の拓本などの実習を行いました。

土器づくり実習は、教育・普及活動として、史跡の活用を目的に開催されているイベントの開催方法等を学びながら実際に土器を作りました。

資料撮影実習は、収蔵品の撮影を行いました。

資料館講座「土器づくり」

□ 日時・場所

土器づくり 10月24日(日) 午後1時30分～4時
知立市図書館2階 視聴覚室

土器焼き 11月21日(日) 午前10時～正午
荒新切遺跡

□ 内容

知立市指定の史跡「荒新切遺跡」に親しんでいただく目的で行っている講座です。対象を小学4年生以上とし、野焼き用の粘土を使い、ひも状にして輪積みする方法を基本とし、当館所蔵の土器やこれまでの作品を見本に制作していただきました。

野焼きでは、木の土台の上に土器を並べ、上部に木組みを作った後、小さい木切れや落ち葉などをかけて燃やし、自然鎮火するまで焼きました。その間、遺跡説明の後、舞ざり式の火熾し体験や弓矢体験も行いました。

□ 参加者 土器成形12人

(小学4年生3人、5年生2人、6年生2人、大人5人)

※新型コロナウイルス感染症予防のため、これまでの定員16人から12人に減らしました。



市内小学校3年生の見学

社会科「昔の暮らし」の学習の一環として、毎年秋～冬に市内の小学3年生が昔の暮らしの道具について学びに来館します。令和3年度は2年度と同様に新型コロナウイルス感染症が懸念され、市内7校の内、来館は3校でした。また、「市の様子と人々の暮らしの移り変わり」についても学びました。

密になることを避けるため、1クラスを2つに分け、ピンポイントに短く展示説明を行い、あとは自由に見学しながら職員に尋ねる形式で行いました。

見学日	学校名	来館児童数
10月29日(金)	知立小学校	140人
11月2日(火)	知立南小学校	119人
2月10日(木)	知立西小学校	101人

収集・保存活動

寄贈資料

当館の資料の多くは、市民の方々より寄贈いただいたものでなっております。

令和3年度のご寄贈は以下の通りです。ここに記して感謝申し上げます。

資料名	時代・年
写真「毛受兼一商店」(谷田町)	昭和35年頃
写真(データ形式)4枚 「知立市・伊那市友好都市交流祝賀式」 「碧海地区5JA合併契約調印式」	平成7・8年
知立国民学校初等科 修了証書	昭和22年
知立国民学校初等科第一学年 皆出席賞	昭和17年
徳風保育園 保育証	昭和16年
市制20周年記念 通行手形	平成2年
水鉄砲	明治13年
SPレコード「知立音頭」	—
大阪朝日新聞 戦時(昭和13年11月13日)	昭和13年
中部日本新聞 戦時(昭和20年8月15日)	昭和20年
知立市詳細図	昭和50年代
写真「知立小学校開校百年航空写真」2枚	昭和48年
写真「知立西小学校航空写真」2枚	昭和51年
広報ちりゅう 市制ガイド(昭和58年4月1日号)	昭和58年
チラシ カシオパーソナルミニ(電子計算機)チラシ	1970年代
ウノ・カマキリ氏関連資料 一式	平成10～25年
やなせたかし氏色紙	平成18年
おひなさま(御殿飾り) 一式	昭和9年
胃の薬「速治散」(缶入り・説明ちらし付)	昭和初期
知立に関わる写真 5枚 「大日本国防婦人会知立町分会刈谷道班」(昭和14年) 「知立神社宮司と町の名士の記念撮影」(昭和16年) 「境川橋掛けかえ」(大正2年)など	—
内裏雛	昭和3年
隅田三郎氏旧蔵資料 一式	—
棕櫚の簞	大正～昭和時代
知立市のパンフレット	昭和48年頃
戦時中の知立の写真 3枚 「大日本国防婦人会知立町分会集合写真」 「もんぺ姿の女学生」 「女子青年団の女性」(昭和18年)	昭和10年代
三河木綿の着物(子供用)一式(着物、羽織、帯)	—
『財団法人大日本消防協会と其の事業』	昭和9年

受領図書

寄贈者(敬称略)	書名
愛銀教育文化財団	Ayuchi No. 89～91
あいち朝日遺跡ミュージアム	朝日遺跡だより vol. 1～2
愛知学院大学文学部	愛知学院大学考古学発掘調査報告31 荻平遺跡A地点隣接地の発掘記録7／発掘調査報告32 古城山窯跡第3次発掘調査概要報告書
愛知県政策企画局	あいちのトビラ2022
愛知県経済産業局	あいちの伝統的工芸品
愛知県生涯学習推進センター	まなびあいち 第74号、第76号
愛知県埋蔵文化財センター	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第218集 大栗遺跡／愛知県埋蔵文化財センター年報 令和3年度／研究紀要 第22号
愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所	年報 平成30・31年度 第3号
愛知児童・青少年舞台芸術協会	愛児協ニュース 2022年4月号
愛知大学	博物館学芸員課程年報 第26号
愛知大学総合郷土研究所	東三河の古墳 1600基の古墳はどうして築かれたのか
あいち山車まつり日本一協議会	あいち山車図鑑(第2版)／第9回日本の祭シンポジウム報告書
愛知県陶磁美術館	館報 第28号
愛知埋蔵文化財センター	愛知埋蔵文化財センター調査報告書 第215集 笹平遺跡
熱田神宮宝物館	宝物館だより No. 241～245／新春特別展「足利将軍家・三英傑と熱田神宮」
安城市教育委員会	安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 第46集 平成30・31(令和元)年度市内遺跡調査報告山伏塚古墳／安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 47集 史跡 本證寺境内／安城市文書資料集成 第9集 本證寺文書記録類6
安城市歴史博物館	れきしみち No. 121～123／研究紀要 25号／年報／特別展「加賀本多家一その歴史と至宝」／企画展「安城の今昔3 お米のモノがたりー知恵と工夫のむかしの道具」／特別展「女子のたしなみー変わりゆく意識とくらしー」
射水市新湊博物館	国重要無形民俗文化財指定記念特別展「放生津の祭ー海がはぐくむ曳山・築山ー」
一般財団法人明智継承会	ときの便り
一般財団法人地域創造	地域創造レター No. 312～322／公立ホール・劇場職員の為の制作基礎知識 増補版2021年
INAXライブミュージアム	LIVING&MAGAZINE BY INAX MUSEUMS
犬山城白帝文庫歴史文化館	歴史文化館だより 18号
上野文化美術保存会	だんじり、おに
馬の博物館	秋季特別展「鞍上にて駆ける近代 御料馬・主馬寮・天覧競馬」
江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第11号～第12号／江戸東京博物館NEWS 113号～115号／調査報告書第35集 モース研究
恵那市教育委員会	恵那市文化財調査報告書第46集 恵那市遺跡詳細分布調査報告書
大口町歴史民俗資料館	大口町歴史民俗資料館年報 令和2年度／大口町歴史民俗資料館研究紀要XVIII
岡崎市美術博物館	研究紀要 第九号／ARCADIA 86～89／図録「マイセン動物園展」／図録「神話の世界」／収蔵品図録 土人形
岡崎信用金庫資料館	おかしん vol. 806
各務原市歴史民俗資料館	かがみがはら百科+ No. 1～2
春日井市教育委員会	令和2年度市内遺跡調査概要報告書／郷土誌かすがい 第80号
春日井市道風記念館	道風記念館だより 第58～62号／道風記念館開館40周年記念特別展「書之美、書の価値～つたえるということ～」
葛飾区教育委員会	葛飾区埋蔵文化財調査報告・年報
神奈川大学日本常民文化研究所	民具マンスリー 第54巻 1～12号／日本常民文化研究所 2021～2023 創立100周年記念号／神奈川大学日本常民文化研究所論集38 歴史と民俗
蟹江町教育委員会	蟹江町歴史民俗資料館 年報 第42冊
可見市役所文化スポーツ部文化財課	可見市埋文調査報告58 美濃金山城跡主郭発掘調査報告書
株式会社 都市研究所スペースア	社外報 ラバタブ
株式会社クマヒラ	抜萃のつづり その八十一
龜山市歴史博物館	第37回企画展 国史跡指定記念「鈴鹿関一奈良時代の国家戦略一」
刈谷市郷土文化研究会	かりや 第42号

寄贈者(敬称略)	書名
刈谷市市民活動部文化観光課文化財係	国指定天然記念物小堤西池カキツバタ群落調査報告書15
刈谷市美術館	刈谷市美術館年報
刈谷市歴史博物館	研究紀要 第1号/刈谷市歴史博物館ニュース Vol.6~9/本刈谷貝塚確認調査報告書/刈谷市歴史博物館 年報(第2号)/企画展「豊臣秀次-刈谷に新時代をもたらした関白殿下-」
岐阜県博物館	岐阜県博物館報 第44号/岐阜県博物館調査報告 第41号
岐阜関が原古戦場記念館	企画展「物語る戦国合戦-美濃の刀剣-」/年報 第1号/企画展「竹中半兵衛と重門」
行田市郷土博物館	行田市郷土博物館収蔵資料目録 原田庄左衛門家資料目録/第31回テーマ展「近代日本の写真と出版-原田家と小川一真-」/第34回企画展「足元から紐解く生活史」
京都文化博物館	朱雀 第33集/京都 祇園祭 町衆の情熱・山鉾の風流
清須市教育委員会	清洲埋蔵文化財調査報告X 清洲城下町遺跡IX/清須市埋蔵文化財調査報告XIII 朝日遺跡II/清洲市埋蔵文化財調査報告XIV 朝日遺跡III
草津市教育委員会	令和元年度柳遺跡発掘調査報告書/令和元年度榊差遺跡・榊差古墳群発掘調査報告書/草津市文化財年報28
草津市立草津宿街道交流館	草津宿日和 12号~13号
公益法人ちゅうでん教育振興財団	NEWえるふ Vol.25~Vol.26
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日 第111~114号/高知県立歴史民俗資料館年報 令和2年度 No.30
江南市歴史民俗資料館	令和2年度年報
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第223~229集、232集/要覧2021年度版
斎宮歴史博物館	史跡斎宮跡 令和元年度発掘調査概報/斎宮跡発掘調査報告III 下園東区画の調査 出土遺物編/斎宮跡発掘調査報告III 下園東区画の調査 写真図版編
埼玉県立川の博物館	かわはく No.69~71
枝下用水資料室	続・枝下用水日記 No.4~6
品川区立品川歴史館	令和3年度品川区立品川歴史館特別展「変わりゆく品川の風景」
株式会社	藤沢市 川名原・市場遺跡 第2次調査 発掘調査/鎌倉市 米町遺跡 発掘調査報告書
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報 第22号
諏訪市教育委員会	第82集市内遺跡発掘調査報告書(令和2年度)-長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書-
瀬戸蔵ミュージアム	瀬戸蔵ミュージアム企画展「本業の技-近世瀬戸村の名工たち-」
瀬戸市文化振興財団 埋蔵文化財センター	令和3年度 公益財団法人瀬戸市文化振興財団 企画展「文明開化とせとやき-近代前期の瀬戸窯と美濃窯-」
全国市長会	市政
全国民俗芸能保存振興市区町村連盟	全民連だより 第85号
浅草寺	仏教文化講座 第65集
高岡市教育委員会	高岡市埋蔵文化財調査概報 第81冊 富山県高岡市 市内遺跡調査概報30/国指定史跡高岡城跡整備基本計画書/富山県高岡市守山城跡詳細調査概報2
田原市博物館	田原市博物館研究紀要 第10号・田原の文化 第44号/華山会報 第46号/田原の文化財ガイドVI 渡辺華山
中京大学	中京大学文学会論叢
ちりゅう芸術創造協会	Patio 68
知立市文化協会	ちりふ文化 第169号
知立ロータリークラブ	創立30周年記念誌
津市教育委員会	津市文化財年報15 -令和元年度(平成31年度)-
東海国立大学機構大学文書資料室	大学文書資料室ニュース 第38号
東海市教育委員会	愛知県東海市 令和元年度 畑間・東畑遺跡発掘調査報告
徳川美術館	葵 No.119~121
図書出版樹林舎	写真アルバム 碧海の今昔
富山県埋蔵文化財センター	埋文とやま VOL.154/富山県出土の重要考古資料13 とやまの古代生産遺跡等出土品/令和3年度 特別展「珠・玉・球-私たちが魅了する たま とは-」
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	豊川市桜ヶ丘ミュージアム 年報 令和2年度/特別展「いにしへの響き」
豊田市郷土史研究会	研究紀要 第二十集
豊田市郷土資料館	小栗家民具調査報告書 小栗鉄次郎・生家-その暮らしの道具たち- /豊田市郷土資料館だより No.110~112/こどもしりょうかんだより44号~45号

寄贈者（敬称略）	書名
豊田市生涯活躍部文化財課	第85集 沢尻遺跡／第86集 高橋遺跡／令和元年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書
豊田市民芸館	豊田市民芸館だより 第31号
トヨタ博物館	年報2020
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書第145集 吉田城址(XV)／豊橋市埋蔵文化財調査報告書第155集 市内遺跡発掘調査—平成30年度—
豊橋市美術博物館	企画展「吉田城と三河吉田藩 藩主大河内松平家の歴史と文化」／豊橋市美術博物館研究紀要／風伯 109号～111号
名古屋港水族館	さかなかな vol.109
名古屋市博物館	名古屋市博物館だより 232号
名古屋市美術館	名古屋市美術館ニュース アートペーパー 116～117
名古屋市蓬左文庫	蓬左 101号
名古屋城総合事務所	特別史跡名古屋城跡天守台周辺石垣発掘調査報告書／名古屋城二の丸地区試掘調査報告書 第1次・第2次調査
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第三十九集
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.182～186
南山大学人類学博物館	紀要 第40号
西尾市岩瀬文庫	岩瀬文庫だより No.68～No.70／企画展「塩」／企画展「ものがたりの系譜」／特別展「江戸時代の西尾」／企画展「刀～書物からみる刀の魅力～」
西尾市教育委員会	新編西尾市史研究 第7号／新編西尾市史だより 第8号
西尾市史編さん委員会	新編西尾市史 資料編3 近世1
日本文化財保護協会	会報「飛天」／紀要
根津美術館	KORIN展 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」
野田史料館	野田史料館報 第160号～162号
白山市立松任中川一政記念美術館	館報 獨行道 第三十号
浜松市地域遺産センター	浜松城跡35次調査の概要／浜松城下町遺跡3／浜松の文化財1 国史跡 光明山古墳／浜松の文化財2 県指定及び市指定有形文化財(考古資料) 袈裟襷文銅鐸／浜松の文化財3 県指定文化財(考古資料) 金銀装円頭大刀／浜松の文化財4 市指定史跡 浜松城／城山遺跡10／上新屋遺跡2／令和元年度 浜松文化財調査報告書／浜松城跡14／郷ヶ平6号墳／別所前遺跡—4次調査の成果—／松東遺跡4／梶子遺跡4／浜松城跡15
半田市博物館	半田市博物館 年報・紀要 令和2年度
彦根城博物館	彦根博物館だより 第133号～第136号
藤沢市教育委員会	藤沢市埋蔵文化財調査報告 第7集 市内遺跡試掘・確認調査報告2／藤沢市埋蔵文化財調査報告 第5集 西俣野御所ヶ谷遺跡 第3次調査 発掘調査報告書／藤沢市埋蔵文化財調査報告 第6集 大庭羽根沢東遺跡 第7次調査 発掘調査報告書／藤沢市埋蔵文化財調査報告 第8集 大庭城跡Ⅱ —第24次・第25次発掘調査報告書—／文化財調査報告書第56集
富士市市民文化振興課文化財担当	富士市内遺跡発掘調査報告書—令和元年度—／宇東川遺跡F地区 富士市埋蔵文化財調査報告 第71集
古橋懐古館	古橋懐古館だより 10～11号
碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館	年報2019
碧南海浜水族館	碧南海浜水族館年報 第34号
碧南市芸術文化ホール	エメロード vol.26～27
碧南市藤井達吉現代美術館	年報 平成30・令和元年度／研究紀要 No.6／令和2年度歴史系企画展「没後180年俳人 榎老～文芸を嗜んだ碧海郡平七村・中根又左衛門～」／企画展「没後100年服部長七と近代産業遺産」
鳳来寺山自然科学博物館	鳳来寺山自然科学博物館 館報 第50号
町田市立自由民権資料館	自由民権 34号
三重県総合博物館	みえんしす 33号～35号／第28回企画展「やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物」／第29回企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」／三重県総合博物館 年報通巻7号(令和2年度)

寄贈者（敬称略）	書名
三重県埋蔵文化財センター	居林遺跡・北山城跡(第2～4次)発掘調査報告／中野山遺跡(第4・5・8～13次)発掘調査報告／大林B遺跡・長五郎林B遺跡(第2次)発掘調査報告／伝仙幢寺跡発掘調査報告／小社遺跡(第3次)発掘調査報告／栗野北遺跡発掘調査報告／小社遺跡(第2次)・辻ノ内遺跡発掘調査報告／明豆遺跡発掘調査報告
みえむプロジェクト実行委員会	地域をつなぐ伊勢参り再発見プロジェクト 活動の記録
みよし市歴史民俗資料館	夏季企画展「シリーズ猿投窯の歴史を探るI 猿投開窯」／秋季企画展「伊豆原麻谷と小島老鉄～交錯する二人の南画家～」
本居宣長記念館	ふみの森探検隊通信 第38号～41号／秋の特別展「伊勢人宣長」／鈴屋学会報 第38号
野外彫刻プロムナード展振興運営委員会	野外彫刻プロムナード20周年記念事業記念誌
山種美術館	浮世絵 名品集
四日市市教育委員会	中島組鯨船神徳丸 屋形屋根幕新調事業報告書
(公財)栗東市スポーツ協会 文化財調査課	2019年度年報／話題の発掘調査 はっくつ2020／栗東文化資産 椿山古墳／栗東市文化財報告書第136冊 野尻遺跡発掘調査報告書／栗東市文化財報告書第161冊 高野遺跡発掘調査報告書／栗東市文化財調査報告書第174冊 小柿遺跡発掘調査報告書／栗東市文化財発掘調査報告書第158冊 高野遺跡調査報告書／栗東市文化財調査報告書第160冊 小柿遺跡発掘調査報告書／栗東市文化財調査報告書第165冊 蜂谷・盆沢寺遺跡発掘調査報告書
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館平和研究 第22号／立命館大学国際平和ミュージアム資料研究報告 第5号／立命館大学国際平和ミュージアムだよりVol. 29-1(通巻84号)～Vol. 29-2(通巻85号)
個人	内藤記念くすり博物館『くすり博物館収蔵資料集① くすり看板』／内藤記念くすり博物館『目で見るくすりの博物誌』／内藤記念くすり博物館『2019年度企画展図録「薬局方のあゆみー確かな品質のくすりを求めてー」』
	碧南市史編纂専門委員会・平和用土地改良区沿革史編纂部会『平和用水史』
	古谷哲之輔『三河土人形一名もなき工人たちがのこしたものー』
	小林章男『小さなことから6 高機・仙吉・蘇芳』／小林章男『小さなことから2 愛知県の高機』／小林章男『小さなことから5 日本の高機一分類と分布ー』
	野村泰三『社寺めぐり 知立の寺院 ふるさとの古刹・精舎』／刈谷市教育委員会『刈谷町庄屋留帳 第五巻』／高浜町誌編纂委員会『高浜町誌 第一巻』／常滑市誌編さん委員会『常滑窯業誌 常滑市誌別巻』／松岡敬二『古地図で楽しむ三河』／八幡町役場『郡上八幡町史 上巻・下巻』
	入江朋代『おとうさんは どこに』

利用状況

貸出・閲覧資料一覧

資料名
写真資料データ「新駅通りと中央通りの交差する付近」(昭和40年代)
写真資料データ『写真アルバム 碧海の今昔』(樹林舎・2021)掲載写真 一式
杉浦仙吉の杼 6点 ※閲覧
写真資料データ「知立の山車文楽」
資料画像データ ウノ・カマキリ氏作品「落画」イラスト(頭がうどん)
写真資料データ「知立劇場」(昭和25年)、「劇場通り」(昭和40年)
資料画像データ「刈谷高等女学校凜風隊ワッペン」、「刈谷高等女学生タスキ」
写真資料データ「八橋古城跡」(発掘状況写真)
資料画像データ「長線(再現品)」
写真資料データ「興和紡績知立工場正門」(昭和45年)
池鯉鮒を描いた浮世絵 10点 「葛飾北斎画 春興五十三駄之内 池鯉鮒」、「歌川広重画 東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市」ほか
二代歌川広重画 東海道五拾三次一覽
東海道名所図会
資料画像データ「池鯉鮒宿街道絵図」(元治元年)
資料画像データ 池鯉鮒を描いた浮世絵 15点 「歌川豊広画 東海道名所 池鯉鮒」、「葛飾北斎画 東海道五十三次 池鯉鮒(絵本駅路之鈴)」ほか
資料画像データ「東海道名所図会」
写真資料データ 知立まつりの各町の山車 5枚
資料画像データ「東海道池鯉鮒宿並絵図」
寄託資料画像データ「明治14年 自由党员懇親会集員録」
寄託資料「内藤魯一翁伝記」 ※閲覧
ほうろく
燕子花図屏風(複製)
長線(複製)
寄託資料画像データ 内藤魯一関係文書 一式
資料画像データ 池鯉鮒宿を描いた浮世絵等 38点 「歌川豊広画 東海道名所 池鯉鮒」、「葛飾北斎画 東海道五十三次 池鯉鮒(絵本駅路之鈴)」、「東海道名所図会」ほか 「知立町案内図」(昭和28年) ※閲覧

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)	一日あたり来館者数(人)
4月	1,131	24	47.1
5月	1,751	26	67.3
6月	1,193	25	47.7
7月	2,362	23	102.7
8月	2,879	26	110.7
9月	1,372	22	62.4
10月	2,600	25	104.0
11月	1,159	16	72.4
12月	1,195	23	52.0
1月	1,037	24	43.2
2月	2,686	20	134.3
3月	2,064	24	86.0
合計	21,429	278	77.1

文化財保護事業概要

文化財保護事業

文化財調査・活用

<歴史的建造物の調査>

市内山町の旧東海道沿いに位置した江戸時代末頃の町屋と考えられる建造物について、記録保存を目的とする調査を委託により実施しました。

調査日時 令和3年12月4日（土）、6日（月）

調査内容 実測調査、写真撮影、平面・立面・矩計・断面・配置図作成

<歴史文化体験教室>

令和2年度に開催した「池鯉鮒宿歴史文化保存活用ワークショップ」内での意見を基に、歴史的建造物の保存と活用、また歴史や文化を活かしたにぎわいづくりのため地方創生交付金を活用し、下記のイベントを開催しました。

	開催日時・場所	内 容	参加者
第1回	令和4年2月27日 9:30~15:00 知立神社養正館	「ピンホールカメラ体験教室」 1 あいさつ（WSの趣旨など） 2 講義 3 ピンホールカメラづくり 4 撮影・現像	市民20人 （小学校3年生~中学校1年とその保護者計10組）
第2回	令和4年3月6日 10:00~12:00 知立神社養正館	「有松の絞り染め体験教室」 1 あいさつ 2 講義 3 絞り 4 染付	市民18人 （小学校3年生~中学校1年とその保護者計9組）



文化財保護

＜文化財管理委託業務＞

知立松並木保存委託、荒新切遺跡保存用地草刈を例年どおり実施しました。

また、丸山古墳、牛田城跡、八橋古城跡、業平塚の管理委託業務を実施しました。

＜文化財防火訓練＞

第 68 回文化財防火デー消防訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染者急増により中止しました。

＜文化財事業補助金＞

下記の文化財修理事業に補助を行いました。

- ・ 知立山車文楽人形（本町）修理事業（新調）

下記の無形民俗文化財保存伝承活動事業に補助を行いました。

- ・ 知立からくり保存会伝承活動事業
- ・ 知立山車文楽保存伝承活動事業
- ・ 神楽保存伝承活動事業
- ・ 知立山車連合保存会伝承活動事業
- ・ 義太夫後継者育成事業

条例・規則

知立市歴史民俗資料館条例

昭和 62 年 9 月 30 日

条例第 17 号

改正 平成 19 年 10 月 1 日条例第 20 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 の規定に基づき、知立市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の設置及び管理について、必要な事項を定めるものとする。

(設置及び名称)

第 2 条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の保存と活用を図り、地方文化の発展に寄与するため資料館を設置する。

2 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 知立市歴史民俗資料館 位置 知立市南新地二丁目 3 番地 3

(管理)

第 3 条 資料館の管理は、知立市教育委員会（以下「委員会」という。）が行う。

(職員)

第 4 条 資料館に館長及び必要な職員を置く。

(入館料)

第 5 条 資料館の入館料は、無料とする。

(委任)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

(附則 省略)

知立市歴史民俗資料館管理規則

昭和 62 年 9 月 30 日
教育委員会規則第 4 号

改正 平成 4 年 3 月 25 日教委規則第 3 号 平成 6 年 3 月 24 日教委規則第 5 号
平成 10 年 3 月 24 日教委規則第 6 号 平成 11 年 8 月 25 日教委規則第 4 号
平成 23 年 6 月 24 日教委規則第 2 号 平成 24 年 5 月 24 日教委規則第 6 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、知立市歴史民俗資料館条例（昭和 62 年知立市条例第 17 号）第 6 条の規定に基づき、知立市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理及び運営に関し、必要な事項を定める。

(事業)

第 2 条 資料館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集保存及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究に関すること。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- (4) その他知立市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認めた事業を行うこと。

(職員)

第 3 条 資料館に館長、館長補佐、係長、担当係長、専門員、学芸員及びその他の職員を置くことができる。

(職務)

第 4 条 館長は、上司の命を受けて資料館の管理及び運営の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 館長補佐は、上司が命ずる事務を処理し、館長を補佐する。

3 係長は、上司の命を受け、係に属する事務を処理し、所属職員（担当係長を含む。）を指揮監督する。

4 担当係長、専門員及びその他の職員は、上司の命を受け、あらかじめ指定された事務又は業務を処理する。

(開館時間)

第 5 条 資料館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

(休館日)

第 6 条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときを除く。）
- (2) 1 月 1 日から 1 月 3 日まで及び 12 月 29 日から 12 月 31 日まで
- (3) 館内整理日（毎月第 4 金曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その前日）
- (4) 特別整理期間（毎年 1 回委員会が定めた 10 日以内の期間）

(入館制限)

第7条 委員会は、次に該当する場合は、施設等の利用を許可しない。

- (1) 入館者に迷惑をかけ、又は資料及び資料館の施設、附属設備等を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (3) 専ら営利を目的とする行為を行うとき。
- (4) その他管理上支障があると認めるとき。

(弁償の義務)

第8条 故意又は過失により資料館資料をき損した者は、相当の代価をもって弁償しなければならない。

(資料の利用)

第9条 学術調査、研究等のため閲覧、撮影、模写等で資料を直接利用しようとするときは、館長の許可を受けなければならない。

(資料の収集)

第10条 資料の収集は、購入、寄贈、寄託及び借用とする。

(資料の寄贈)

第11条 館長は、寄贈の申出があったときは、適当と認めるものについて資料寄贈申出書(様式第1)により受納することができる。

(資料の寄託)

第12条 一般の公開に供する目的をもって資料館資料を寄託しようとする者は、資料寄託申出書(様式第2)を提出し、館長の許可を受けなければならない。

2 寄託に要する費用は、寄託者の負担とする。ただし、資料館から寄託の申し込みをしたときは、この限りではない。

3 寄託された資料は、寄託者の請求又は資料館の都合によりこれを返還する。

(借用の手續)

第13条 資料館が資料を借用するときは、あらかじめ所有者又は管理者の承諾を得たうえ資料借用書(様式第3)を交付する。

(免責)

第14条 資料館は、寄託及び借用資料が天災その他避けがたい理由により生じた損失については、その責任を負わないものとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りではない。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

(附則及び様式 省略)

知立市文化芸術基本条例

平成 30 年 3 月 26 日条例第 19 号

改正 平成 31 年 3 月 20 日条例第 18 号

私たちのまち知立市は、いにしえからの豊かな歴史と文化を築き育む風土を大切に受け継いできました。

在原業平や松尾芭蕉が歌に詠み、尾形光琳が描いた燕子花図屏風で知られる八橋のかきつばた。歌川広重が描いた馬市の名残を残す東海道の松並木。明治神宮から御下賜された知立公園の花しょうぶ。そして、ユネスコ無形文化遺産に登録された知立祭りの山車文楽とからくり。これらは知立市の宝であり、先人たちが大切に守り育ててきた文化芸術活動のたまものです。

これら受け継がれてきた文化芸術と、新たに生まれる文化芸術が混ざり合い、私たちのまちは形作られています。

文化芸術を自由に創造し、享受することは、人々の生活に楽しみや潤い、精神的な豊かさや活力をもたらすとともに、人々をつなげ、連携させる力があります。この文化芸術の持つ力は、産業、観光、教育、福祉の発展、コミュニティづくり、多文化共生の促進など幅広い分野において重要な役割を担うものであり、住みよく活力あるまちづくりのためになくってはならないものです。

私たちは、文化芸術の価値を認識し、様々な文化芸術を受け継ぎ、発展させるとともに、新たな文化芸術の創造と普及を総合的かつ計画的に進めることにより、一人ひとりが文化芸術とともに生きる豊かな地域社会の形成を目指し、ここに条例を制定します。

(目的)

第 1 条 この条例は、文化芸術に関する施策に関し、その基本理念を定め、並びに市民、文化芸術団体、学校及び事業者（以下「市民等」という。）並びに市の役割を明らかにするとともに、文化芸術に関する施策の基本となる事項を定めることにより、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 文化芸術 文化芸術基本法（平成13年法律第148号。以下「法」という。）第 8 条から第13条までに規定する振興その他の施策の対象となる文化芸術その他これらに類するものをいう。
- (2) 市民 次に掲げる者をいう。
 - ア 市内に住所を有する者
 - イ 市内の事業所等に勤務する個人
 - ウ 市内の学校に在学する個人
 - エ 市内において、文化芸術に関する創造的活動、文化芸術を支援する活動その他の文化芸術に関する活動（以下「文化芸術活動」という。）を行う個人
- (3) 文化芸術団体 市内において、文化芸術活動を行う法人その他の団体及びその連合体をいう。
- (4) 学校 市内の学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第 1 条に規定する学校その他学校教育に類する教育を行う教育施設をいう。）をいう。
- (5) 事業者 市内に事業所等を有する法人その他の団体及び個人をいう。
- (6) 多文化共生 国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、地域社会の構成員と

して共に生きていくことをいう。

(基本理念)

第3条 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、市民等の自主性及び創造性が十分に尊重され、市民等による多様な文化芸術活動が理解され、及び促進されるよう配慮されなければならない。

2 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、誰もが文化芸術を創造し、誰もが享受する、そのことが人の生まれながらの権利であることを踏まえ、全ての市民がその年齢、障害の有無、経済的な状況、国籍、民族等にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備が図られなければならない。

3 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、歴史や風土の中で培われ、先人から引き継がれてきた文化芸術が保存され、及び記録され、並びに将来に継承されるよう配慮されなければならない。

4 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、市の内外に広く文化芸術が発信されるとともに、文化芸術を通じて交流が促進されるよう配慮されなければならない。

5 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術に関する教育の重要性に鑑み、学校、文化芸術団体、家庭及び地域における活動の相互の連携が図られるよう配慮されなければならない。

6 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、広く市民等の意見が反映されるよう十分配慮されなければならない。

7 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、観光、まちづくり、福祉、教育、産業、多文化共生その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

(市の役割)

第4条 市は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、市の歴史、風土等地域の特性を踏まえて文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するものとする。

2 市は、文化芸術に関する施策を推進するに当たり、必要に応じ、観光、まちづくり、福祉、教育、産業、多文化共生その他の施策と連携を図るものとする。

3 市は、文化芸術に関する施策を推進するとともに、遊びや憩いの機会が創出されるよう努めるものとする。

4 市は、文化芸術に関し、調査、研究、記録、保存及び発信に努めるものとする。

(市民の役割)

第5条 市民は、基本理念にのっとり、文化芸術の果たす役割と自らがその担い手であることを認識するとともに、主体的にその活力と創意を生かして、広く文化芸術の創造及び発展に努めるものとする。

(文化芸術団体の役割)

第6条 文化芸術団体は、基本理念にのっとり、自主的かつ創造的に文化芸術活動を推進するとともに、文化芸術活動に参加する市民との協働により、文化芸術活動の充実に資するよう努めるものとする。

(学校の役割)

第7条 学校は、基本理念にのっとり、幼児、児童、生徒等が文化芸術活動を体験し、及び文化芸術に関する作品に触れる機会の充実に努め、並びに文化芸術を担う人材の育成、地域の文化芸術活動の活性化等に努めることにより、文化芸術の振興に積極的な役割を果たすものとする。

(事業者の役割)

第8条 事業者は、基本理念にのっとり、地域社会を構成する一員として、その保有する資源を活用し、地域の文化芸術活動の活性化等に努めることにより、文化芸術の振興に積極的な役割を果たすものとする。

(基本計画)

第9条 教育委員会は、法第7条の2第1項の規定に基づき、文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画（以下「基本計画」という。）を定めるものとする。

(子どもの文化芸術活動への参加等の機会の確保)

第10条 市及び市民等は、次代を担う子どもの豊かな人間性を育むため、子どもが優れた文化芸術に触れ、及び創造的な文化芸術活動に参加する機会の確保に必要な取組を行うよう努めるものとする。

(高齢者、障害者等に対する文化芸術に関する施策の充実)

第11条 市及び市民等は、高齢者、障害者等が文化芸術に親しむとともに、自主的な文化芸術活動を行うことができるよう、必要な取組を行うよう努めるものとする。

(伝統的な文化芸術の保存等)

第12条 市及び市民等は、伝統的な文化芸術の保存及び継承並びに発展に努めるものとする。

(国際文化交流の推進等)

第13条 市及び市民等は、文化芸術活動を通じて、国際交流の推進に努めるものとする。

2 市及び市民等は、文化芸術活動を通じて、多文化共生の推進に努めるものとする。

(人材の育成)

第14条 市は、文化芸術に関する創造的活動を行う者、文化芸術活動を支援する者その他の文化芸術を担う者の育成に努めるものとする。

(文化芸術に関する環境の整備と連携の強化)

第15条 市は、文化芸術活動が活発に行われるような環境の整備を図るものとする。

2 市は、文化芸術に関し、市民等の連携の強化及び促進に資する施策の実施に努めるものとする。

(財政上の措置)

第16条 市は、文化芸術に関する施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(顕彰)

第17条 市は、文化芸術の振興に寄与した者の顕彰に努めるものとする。

(知立市文化芸術推進会議)

第18条 教育委員会の諮問に応じ、基本計画その他の文化芸術の推進に関する重要事項を調査審議させるため、法第37条の規定に基づき、知立市文化芸術推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

2 推進会議は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 文化芸術団体を代表する者
- (3) 福祉又は学校教育の関係者
- (4) 市民
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期

間とする。

5 委員は、再任を妨げない。

6 前各項に定めるもののほか、推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第19条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月20日条例第18号）

(施行期日)

1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。

(知立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 知立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和45年知立市条例第34号）の一部を次のように改正する。

別表中「福祉体育館運営審議会委員」を「福祉体育館運営審議会委員 文化芸術推進会議委員」に改める。

知立市歴史民俗資料館年報 令和3年度

令和4年9月1日 発行

編集 知立市歴史民俗資料館
愛知県知立市南新地二丁目3番地3
発行 知立市教育委員会